

本庁西部地区まちづくり集会（H25.10.5開催）

本庁西部地区まちづくり集会

◎日 時 平成25年10月5日（土）10：30～12：00

◎場 所 西部公民館

◎出席団体数 16団体

竹崎自治連合会、長門今浦自治連合会、伊崎自治連合会、上新地自治連合会、長崎町自治連合会、大和町自治連合会、文洋中学校PTA、桜山小学校PTA、神田小学校PTA、下関防犯対策協議会西部地区、グリーンモール商店街振興組合、八幡町八友会、西部第1民生児童委員協議会、西部第2民生児童委員協議会、大和町漁港町内会、西部地区保健推進協議会

◎市出席者 総合政策部部長：三木潤一、総合政策部政策調整監：星出恒夫
地域支援課主幹：秋枝淳司、主任：齋藤浩三

◎傍聴者 無

◎次第

- | | |
|-----------------------|--------|
| 1 開 会 | 10：30～ |
| 2 部長あいさつ | |
| 3 基本的な推進方向について | 10：35～ |
| ・総合政策部政策調整監から説明 | |
| 4 地域の現状と将来を見据えた課題について | 11：00～ |
| （1）地域課題について | |
| （2）課題解決や活性化などについて | |
| （3）総括 | |
| 5 閉 会 | 12：00 |

◎まちづくり集会の目的

地域の自主性と独自性を活かし、市民と地域と行政がお互いの立場を尊重した本市にふさわしい参加と協働によるまちづくりを実現するため、住民自治による地域内権を推進することとしている。

そのため、様々なまちづくり団体が一堂に会し、基本的な推進方向や身近な地域の課題などについて話し合う「まちづくり集会」の場を提供し、住民自治によるまちづくりの機運を高めることを目的とする。

本庁西部地区まちづくり集会（H25.10.5 開催）

【開催の様子】

10月5日に開催した本庁西部地区まちづくり集会へは、地域づくりなど、地域活性化のための諸活動を自主的・主体的に行っている団体等から16名にご参加いただき、自治連合会長を司会として、本庁西部地区が抱える地域課題、地域の活性化に向けた意見交換などを行いました。



【課題整理結果】

本庁西部地区まちづくり集会の中で、参加者どうして話し合われた内容を、地域課題とその解決方法とに分け、コンパクトにまとめています。

課題解決や活性化につながる意見は、個人で解決すべきものは自助、地域で解決すべきものは共助、行政が解決すべきものは公助に分けて表示しています。

本庁西部地区まちづくり集会

10月5日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
まちづくり 地域の少子化が進んで将来のまちづくりが難しい 市施策である中心市街地活性化事業の情報が不足 地域の集会への参加者が少ない		自治会中心のまちづくりを進めるため、役員のやる気を興させる	任意団体への市の支援検討（現在、自治会への市の関与が難しい） 人材育成支援
環境 空き家・空き地の増加（所有者も分からない）			空き家条例で危険家屋の解体補助
地域資源 地域の歴史的観光資源が生かされていない			地域の観光資源を生かした地域活性化
人口定住 人口減で地域に商店が無くなる			地域振興券等で地域商店の活性化
観光 西部地区に観光資源が少ないため人が集まらない	高杉晋作関係	自治会の寄付で資金確保 声かけてメンバー拡大	周年イベントの前倒し開催 観光地のトイレ清掃徹底

本庁西部地区まちづくり集会

№2 10月5日

地域課題	個人で解決するもの （自助）	地域で解決するもの （共助）	行政が解決するもの （公助）
公共事業 彦島方面への道路整備・雨水対策が不十分			彦島に第2関門橋を架け、北九州市との連携を深める（地域-行政が要望）

【議事：地域の現状と将来を見据えた課題について】

【司会】

伊崎自治連合会の会長をしております。

僭越ではございますが、これからの司会進行を務めさせていただきます。皆さんよろしくお
願い致します。

それでは、地域の現状と将来を見据えた課題について、ご意見を出して頂きまして、検
討したいと思えます。何かこの地域で課題と言いますか、そういうのがございましたら、
忌憚なくお願いしたいと思います。その際には、発言は挙手でお願い致します。できたら
簡潔によろしくお願い致します。

【市民】

地域の課題についてということですが、地域は課題を山ほど抱えています。

まず、私どもの八幡町自治会という自治会単位で考えた時に、自治会の所帯数は144
世帯で人口が304人です。

この中で10歳代以下の人口構成比は、304人中の23人なので、7パーセントしか
なく、20～30歳代も40人なので、13パーセントしかいません。

それに比べ、60～70歳代はといえば184人の60パーセント以上なのに比べ、4
0～50歳代はどうかといたら、55名の10パーセントです。

これが20年経ったら時、どうなっているのかを想像すると、これでまちづくりができ
るのかなという風に思います。

そこに住む人間が、その町の構成員ですから、そこに住むようにして貰わないと駄目な
ので、人口定住という考え方を市がどのように思っておられるか。

もう1つお聞きしたいのは、中心市街地活性化区域で中心市街地を整備しておられます
が、この西部地区もその中心市街地活性化区域の住居部分ということで、区域に入ってい
ると思えます。その辺で人口の定住について、それからまちづくりのハードの部分につい
て、中心市街地の活性化の問題を含めて、中心市街地活性化がどのように進んでいるか
ということ、聞かせて頂ければと思います。

【司会】

今のご意見は、直ぐに答えが出る訳じゃないでしょうね。

【市】

はい。

【市民】

中心市街地活性化委員会というのがあって、既に検討されておられるのですね。

恐らく、国道から以南はウォーターフロントで、ずっと整備しておられますが、豊前田
通りから中通り、いわゆる住宅地域の部分は、全然手つかずになっているのですよね。海
側はやって、区域内のことは全然考えてないということはないと思うのですが、そういう
中心市街地の活性化の背後をどういうふうにするかという計画はあるか、ということを知
っているのです。

【司会】

この西部地区は、特に急傾斜地区も多いですから、色々な問題があると思うのです。

今、八幡町八友会の方がおっしゃったように、まちづくりとしてどういう風に住宅地を考えているのかということですね。

【市民】

だからそういう話をしたでしょ。最初に市が大方針を出して、こういう風にやっけて行くんですよという方向を出してもらって、それを受けてこの地区はそれが本当にできるかどうか、やるとすればどういう問題点があるよと。

こういう風にやらないから、今のような発言が出てくる。

定住者が減ってどうするのか、いや、こうやるのです、という市が大方針を示して、その上でやはり集会なり、何なりが成り立つ。

何も方針を出さないで、課題を出せと言われてたって、今みたいな大きな問題が出てくる。これでは解決がつくような話にはならない。

【司会】

今、資料の10ページに書かれてあるように、組織を立ち上げまして、それから3年、4年計画ですという市の考え方ではないですかね。

【市民】

話し合いをやる場を設けて、みんなでワイワイ言えるような雰囲気を作っていければ、今日の会議は大正解だと思います。

【市民】

今のご質問というかご意見。

なぜ、これを聞いたかと言うと、私どもの自治会では空き家がどんどん増えています。ある家では、蔦が家中を巻いていても、そのままほったらかし。空き地は草が生えてほったらかし。私の町内でも空き家が10数件あります。

そんな中で、その地域で住民がまちづくりをする、地域でまちづくりをしようとしても先行きの希望が無いでしょう。だんだんとそうになっていくんですね。ハードな部分で、そういう物をどういうふうにして市はお考えですか、ということをお聞きしたのです。

空き家の条例ができたというのを知っておりますが、私も一度、役所に行って、私の町内を見てもらおうと思っているのですが、今にも倒壊しかかった家屋が何件もあります。ほったらかしなのですね。私たちが持ち主を探そうにも、分かりません。そういうハードな部分は、ある程度、人間の住環境が整わないと、そこでまちづくりをやるといったって、できないと思うのですね。

私たちの町内は、平たいところと山の上とがあって、一番高い所の人たちは、階段を200段ぐらい上がって家に帰られるお年寄りもおられます。そういう所で、お年寄りの、いわゆる連携ということで、私たちの自治会ではやっていますが、その事は発表しなくても良いですが、これから先のことを考えた時に、これがどう進んでいくかなという課題があるから聞いたのです。

どういう形で進められるのか。例えば、私は5年経ったら80才になります。皆さんに、

あと5年経ったら私はできないよと、言っているんです。そういう所で、やはりまず基本となる住環境が整備できない。これは、それぞれの私有物ですから、自分でやってくださいと言われてたらそれ迄ですけど。

例えば、道路の整備だとかをどのように考えておられるか、まちづくりをどのように考えておられるかということが、私は将来の希望として聞きたかっただけです。

【市】

すみません。それに対する明快な回答になるかどうか分かりませんが、1つは今ご案内頂いたように空き家条例というのが出来ました。これは、危険家屋を壊す時に補助金を出しましょうということで、実は、本年15件分を予定しておりましたが、もう既に予算を使い切っております。そのくらいご要望が多い。

1つは、これを私の口から予算化もできてないのに言うのも恐縮なのですが、危険家屋という形でやった時に、どこまでその判断というか、危険になるまでは手つかずの状態というのも1つのネックでございます。そこをもう少し緩和して、空き家の中で、取り壊される、取り壊したい、というようなご要望があれば、それに対する補助というのができないか、というようなことも今、検討しています。

もう1つは、その空き家を使って活性化を図るような事業ができないか。比較的しっかりした家屋で、空き家状態になっているところを利用して、例えば、コミュニティの場を作るとか、いろんな芸術の発表をする場を作る、というような活用ができないかということで、その活用の方法は、本年の秋から取りかかろうと思っています。

ただ、全ての家屋がそれで活用して頂けるのかということ、これはなかなか難しいところもあります。そうするとやはり、今おっしゃって頂いたような危険家屋等々を、1つは取り壊して頂いて、これを市で収用できるかどうかというのは、なかなか厳しいところもございます。所有権の問題もございます。ただ、そういう所を、或いは民間も含めた開発を進めて頂いて、整備をして頂ければ、道路を通すことも可能になるうかと。

まずは、1つは道路整備、或いはその交通の整備をしていかないと、なかなか高齢化が進む中で道路がない、アクセスが悪いからと悪循環に陥っている所があります。

本当は、強制執行のように買い上げて道路を整備して、残った所で開発できれば良いのですが、なかなか申し上げているように財源の問題、或いは権利の問題からして、厳しいところがあります。それは、中心市街地は、特に山側の斜面は、本当は景観、或いは住環境としては、道路さえ整備されていれば決して悪くない。却って良い所なので、その辺りは積極的に今後考えていくというか、進めていかないといけないという風には考えています。ただ、課題も多くございます。

【司会】

それでは、空き家とか急傾斜地の問題は1つと致しまして、他に何かございましたら、お聞きしたいと思います。空き家とか道路以外で。

【市民】

西部地区というのは、明治維新の時の有地というか、見せ地というか、良いものが沢山あるはずなのです。

本庁西部地区まちづくり集会（H25.10.5 開催）

ところが、観光行政がゼロに近いので、これらが本当に活用されていない。本当のところ、白石邸なんかを残していたら、ものすごく人が来ますよ。今は無くなって、小さいのが少しある程度で、本当に恥ずかしい。

やはり、もう1つ言えるのが、私も最近気が付いたことだけど、先帝祭、下関の大きな行事です。遊女さんが本当は、道中で上がっていたんです。それをなぜか、平家の女官の方が身を落として、その方が参拝されていたのですよ。

昔は遊郭から出していたのですが、今の時代には、遊郭は確かに不向きなのかも分かりません。

ところが、今、遊郭の形態を残した家が新地に1件だけあります。あとは、ほとんどもうない。

【司会】

もう少し、簡潔にお願いします。

【市民】

そのため、唐戸の稲荷町にも無い。そういう様なものも市が活せていないし、この市はどうやって飯を食っていくのか、下関市を発展させるのかということが、はっきりしてないからです。

だから観光行政もおざなり、いいかげんです。

正直なところ、この西部地区では、こういう観光資源をやっぱり活かしていくべきだと思うのです。

もう1つ提案ですが、この前の敬老の日に、お祝いを自治会としてお渡ししました。実は私の自治会では、このときに現金を1,000円ほど渡しています、去年も、一昨年も1,000円を渡しているのですが、これを地域振興券で渡すことができれば良いのではないかなと思っていても、それができません。

なぜかという、上新地5丁目にはお店屋さんがゼロ、1件もありません。昔はあったけど今は無くなっています。

ということで、どこかやはりその地区で使えるような形のものにすれば、経済が回ってくるのではなからうかと。ここの辺は、やっぱり市が上手くそこを捉えて、ご指導されたらいかがなものかなと。そうすると商店街も皆、潤う。そんなことを思ったりするんですけど、市がやっぱりもっと大きな目で見れば、色々なことをできるのか、できないのか、地域でこんなことがやれるのではないかと、提案をされるのが良いのではないかと思うんです。それで私のところは、できるとかできないとか。この集会も今後、地域が課題を出して、地域でアイデア出してくれと、それでそれを受けてやりますというのは、あまりにも消極的過ぎやしないかなという気がします。

【司会】

ありがとうございます。西部地区にも高杉晋作に関する施設は随分あります。それは何とか活用したいと思います。敬老会のことは、祝いをしていない町内もありますし、各自治会の活動ではないかと思えます。

それと、下関防犯対策協議会西部地区から高杉晋作の関係でご意見はありませんか。

【市民】

今日は、新地の自治連合会長が所用で欠席しておりますので、副会長の立場も兼ねまして参加しています。

本来は、下関防犯対策協議会の西部地区、丸山から西大坪、筋川の各自治会から来られている地区で、西部地区と言いまして、51名の会員がおります。

今、上新地の方が話された維新の史跡ですが、おっしゃられるように駅からこっち側には、史跡が沢山あります。私も、高杉晋作の実行委員長を15年間やってきて、当初は20名ぐらいの参加者だったのですが、最近では200名で、県外からも福井県が4名で、20代の女性も4年続けて来られます。

その他、京都、横浜いずれも歴女って言うのですか、歴史の好きな人も沢山来られますし、市長も来賓として出席され、100回忌以後の記録写真があります。

市は、市長から毎年お供えを頂戴して、副市長又は部長が参加しておられます。これも現在、市長は観光都市下関を目標と言ったらあれなのですが、唐戸地区は今日、明日は唐戸まつりで大変賑わうと思うのですが、西部地区にはそういったものが全く無い訳です。

そのため、人が集まるということもありませんし、新地の盆踊りもありません。

唯一、自治会としてやっていることは、市のピカピカ大作戦で公共施設の清掃とかですが、盆踊りは中止になるし、自治会としては高杉晋作の終焉の地、今年147回忌で4月14日だったですね。これも市に直接、会長と2人が陳情に行きまして、申し込んでからひと月で、ちょうど市議会が始まっていたものですから、ちょうどひと月後ぐらいですか、いつ何時に来なさいということで行って、お願いをして確約を頂いています。

また先月、私は交通指導もしているので、朝、立哨をしていたら、高杉晋作のことが山口新聞に出ていたよと言われました。山口新聞をご覧になったと思いますが、これも高杉晋作没150年がもう4年後に迫っていますので、それまでにはすると言われて、市長も現場を見に来られました。それでそのようになっておりますが、これも先月の1週間ぐらい前の新聞ですが、長府の博物館の入札が、諸々の資材の高騰とか人員の不足とかがあって、不調に終わっています。確か、予算が20億円で、今年の秋に着工の平成25年の秋に開館予定でした。

博物館に比べれば、この周辺の小さい所は何百万程度の予算だと思うので、150年と言わず前倒ししてでも、私は来年4月14日までに是非やって頂きたいという思いがあります。

これも自治連合会でしておりますが、ほとんど私が1人でしている、と言ったら語弊がありますけれども、企画からすべてを1人でやっていて、結構お金も掛かるため、自治会の町費から頂いて現在は、何とか赤字になっておりませんが、終焉の地の実行委員会とかありますが、全然お金が出ることはなく、皆さん参拝者のご奉仕とか、そういう町費から賄っている状態ですので、また、おもてなしとして、私たちも来られて体裁が悪くてならないのです。それで陳情に行った訳ですが、是非早くやって欲しいと。

それと西部地区に中国電力のところに秋宮祭と書かれていますが、これは西部振興協議会という所がやっておりまして、以前は100名以上の会員がいたのですが、現在はゼロ

に近いと言いますか、名前だけと言いますか、実働的には会長と私が案内状を出したりしています。そういった作業をする者がいないので、白石正一郎と高杉晋作とは関係があるということで、いつも私がお手伝いで幕を張るといった準備をしております。そのような事は本来であれば、竹崎町の方にやって頂きたい。そして竹崎町、新地、高杉に関連ある上新地とか、町内が一体となって祭事を執行したら良いのではないかと考えております。ちょっと話が行ったり来たりですみません。

【司会】

よろしいですよ。新地の副会長が言われるように、高杉晋作の記念碑また維新の史跡がございまして、西部地区も確か学校の区域では結構活動していますから、これをずっと続けていきたいと思えます。それ以外に何かございましたら、もう時間がございませぬので、簡潔にお願いしたいと思えます。ございませぬか。女性の方どうですか。大和町漁港町内会からご意見はありませぬか。

【市民】

ちょっと皆さんの話とズレルかも分かりませぬけど。

大和町は、今、駅が綺麗になりましたし、東大和町の道路も割と綺麗なのです。だけど、西口側、彦島まで行く道路が本当にガタガタ。そして、ガード下があって、それから東大和町へ抜ける道は、雨が降りますと水が溜まって車が通るとビシャビシャになる。

なぜかと言うと、地域の人は良く知らなかつたのですが、道路は県の土地、市の土地と色々あるんです。だから、あそこのマンホールが一緒にならないから水はけが悪いんです。これをどうにか一緒にして、水はけをよくしてもらうように、今日の会合に行ったら、特に言って欲しいという会長からの強い要望がありました。

そうしないと、あの部分は四つ角となっているので、ものすごく雨が降ってビシャビシャになると、車で通られる方も困ると思えます。

これをどうか早く、せっかく綺麗な駅ができたのに、彦島から出て来られる人、また下関から彦島に行かれる人、その人たちが苦勞すると思えます。

実際に雨が降ったら「みなとタクシー」の会社の所も水浸しになりますし、町内会の事務所もあります、前側の道も水が浸かります。この原因は、全てマンホールがちゃんと整備されていないからだろうということですので、これを特にお願いしたいと思っております。

【司会】

いやいや、色々な意見が出た方が良いと思えます。そして、また課題の解決を皆さんで話し合いたいと思えますので、もうあと少しどうでしょうか。時間的に無理でしょうね。

【市民】

先程申したように西部地区51の自治会長は、2年任期で自治会からお一人を推薦してもらうことになっています。私も10数年間、防犯指導員をしておりますが、顔も見たことないが、名前はずっとあるし、お年を見ると80歳という方もいらっしやいます。

私も現在80歳になりましたが、病気にかかったことがないぐらい元気ですから頑張っておりますが、そういった方は、もうお年寄りだから出られないのかどうか知らないです

本庁西部地区まちづくり集会（H25.10.5 開催）

が、皆さん自治会長は自治会の中枢の方だと思いますので、推薦される際には、年間の工程も組んでおりますので、年に2回出て頂くようお願いいたします。

それと、もう私は長く、毎回出ておりますが、もう全然来ておられない、会合にも出席されない方もおられるので、皆さん推薦の際は、よろしく申し上げます。

【司会】

出席率が悪いということですね。それでは今まで出ました空き家、急傾斜地の道路の問題とか、この西部に沢山の史跡がございますので史跡整備。また、先程言われました道路について、市の道路、県の道路、国の道路と色々あると思います。そして、また最後に言われました防犯部長の出席が悪いこと。この4件で、その課題につきまして解決策がございましたら、何か意見をお願いしたい。まとめたいと思いますので。

【市】

最初にまちづくりという課題の整理をさせて頂いて、先程、地域の少子化が進んでなかなか将来のまちづくりが難しいという課題がありました。それから、中心市街地の事業の情報不足している。それから、地域の集会への参加者が少ないのではないかというような課題がございました。

【司会】

そうですね。これの解決案と言いますか、何かご意見がございましたら、本当に私の町内でも今、小学校に通っているのが2世帯だけです。

以前は、ソフトボールチームやポートボールチームが立派に出来たのですが、そういう状態ですから。これをどうすれば、先程、誰かが言われたように道路を作って、家を建てて、ここに仕事を持ってくるとか。

どうしても私の孫なんかでも、市内に就職できなくて岡山まで行っていますから、仕事の関係もあるのかなという気がします。

【市民】

西部地区を下関、北九州のベッドタウンとして、企画して、彦島に第二関門橋をかけて小倉と繋がる。このことを本気で推し進めないと、西部地区が大きく浮上するそういうチャンスはないのではないかと思います。

もう1つ、これも前にどこかで話をしたと思うのですが、一番の北九州とのネックは、皆さんご存じと思うのですが、関門海底トンネル。直流と交流の電源を切り替えないといけない。そうしないと電車は走りません。

これが一番大きいのです。直に小倉に行く、小倉から直にこっちに来るというわけにはいかないのです。一旦、門司に出たところで車内の電気がパチンと切り変わる。あれは、電気が切り替わっているのです。

こんなのがある限り、やはり北九州市と上手くやっていくことが難しいのではないかと。

こういうものを解決していくことで、より北九州市と上手く繋がって、その一番の恩恵を受けるのがこの西部地区だろうと思うのです。こういうふうなところが大きな解決策だと思います。これをやっぱり実現することですね。

それから、5丁目の老人クラブのお話をしましたが、お年寄りが非常に多い。上新地に

老人クラブがあるのですが、老人クラブに任しては、駄目みたいな気がするんです。老人クラブというのは、こんな形なんです。会員が50名で1つのクラブです。だから、私のところなんか莫大、大きいのです。340世帯近くありますから。

【市民】

もう老人クラブを、解消しようかと思っているんです。

それでどうかと言うと、自治会で全部面倒を見ていかないとしょうがない。子供会もありますので、子供会も残しておこうと思いますけれども、どこかで一本化しながら、色々な事をやらないといけない。そんな時期がきているのではないかなと思います。

【司会】

次は、何になっていますか。

【市】

環境で先程、空き家、土地の増加があって、所有者も分からないというような課題がございました。市の方で公助として、条例で危険家屋の解体補助があります。

【司会】

私も空き家の件を市に相談しましたが、今年は全然受けつけられませんという事で、こちらに書いてある通りだと思います。あと、空き家があると、今は余り不審者は見かけませんが、なにかとウロウロしていますからね。

【市民】

所有者も分からないという家も有ります。

【司会】

それから次は、地域資源という事で、先程この地域には歴史的観光資源が活かされていないんじゃないかといったご意見がありました。

その辺は、市にも、もう少し地域資源を生かした地域活性化の事を本気で考えて下さいということでした。

この点は、資風祭にしても、碑前祭にしても、もう少し、どんどんメンバーに声かけしないとしょうがないですね。

【市民】

そうですね。

この件ですが、150周年とかやられるのであれば、高杉晋作が亡くなられた終焉の地だけの行事に留めないで、例えば、療養されていたのは神田小学校の土地ですから。

それと、招魂社があります、桜山招魂社。それから巖島神社の太鼓の問題。

何点かを結んだ形の中で何か行事をやっていく。そうすれば、その近所の人も私のところも一緒に何かあるね。こうなれば関心が広まって大きなイベントを、特別その先帝祭ほど大きいものにはならないでしょうが、何とかものにすれば市としても、それだけ広がってくるとこれはちょっと捨て置けない。こんなことをやっぱりお考えになったら、いかにかなという気がします。

【司会】

八幡町八友会の方、関西校区も熱心にやっていますね。神田・桜山町もやっているでし

本庁西部地区まちづくり集会（H25.10.5 開催）

よ。言葉にはしていますから、今のままで良いのではないかと思います。あとその碑前祭とか資風祭に人を集めるということ、また主催者は考えないといけないと思いますので、よろしくお願い致します。

【司会】

次は。

【市】

産業の分野ですね、地域には商店がないということです。

一応、行政にということで、地域振興券のようなものを作ったらどうかというような1つの提案がございます。

【司会】

これは上新地自治連合会からの意見ですね。

各自治会で記念品があれば、お弁当があれば、赤飯を渡したり、現金を渡したりしている。私の所では敬老の日の祝いはしませんが、その代わりバス旅行をします、という地域もありますし、これは各自治会の行事としての扱いで良いのではないですか。

【市民】

私は、現金1,000円が嬉しいです。

【市民】

それは、地域に商店が無いという事で、地域振興券の問題じゃないんですよ。

地域に人口が定住していないから、商店が成り立っていかない。

昔、いわゆる地域にあったお酒屋さん、お米屋さんがどんどん減っています。だからやはり人口定住ということを基本的に考えていかないと、こういう問題は解決していかないと思います。

【司会】

これは、そういうことでいいと思います。

【市】

人口定住ということですね。

【司会】

そして後は。

【市】

先程、観光の問題がありまして、これについては高杉晋作の関係を自治会で寄付などして資金を確保する。或いは、声掛けでメンバーを拡大。市としては、周年イベントの開催。そういったところでした。

【市民】

観光の関係で1点ほど。海響館がありますが、あそこの隣のトイレ。前にも、どこかの席でお話したと思うのですが、海響館のところにトイレがあるじゃないですか。

あそこのトイレは汚いね。観光地の中で全国最低じゃないか。

【司会】

それは早く市の方に言って下さい。

【市民】

それは海響館ではなく、海峡ゆめ広場にトイレがありますが、あれが一番汚いということ。

【司会】

男子の小便器がない。
シルバーが毎朝、掃除をしていますけど。

【市民】

いや、もう施設が古い。
ゆめ広場は、公園は新しいのに。トイレが汚い、本当汚い。
あんなので、観光で飯を食いましょうなんて、よく言うと思いますよ。
やっぱりお金をかけて、すぐに整備しないとイケない。
トイレは、よそから来るお客さんのためにある。
これが一番メインだ。

【司会】

分かりました。それから後は何かありましたか。これは、市に回答を求める会じゃないですからね。

【市】

一応、こういった意見が出たということで、今日はそれを持ち帰ります。
即座に解決策が出るとは思っていないので、今日はまず、機運を高めていくための集会でございますので、すみませぬご理解をお願いします。

【司会】

この会議は、今日の西部地区で20箇所くらいしているでしょ。

【市】

もう既に14ヶ所が済んでいます。
ここで15ヶ所目となります。

【司会】

それを全部まとめますから、1個1個言ったからといって、直ぐに答えが出るという問題ではないと思いますけど、意見はどんどん言って、解決があればしていきたいと思います。他には何だったですか。

【市】

後は、公共事業のお話でした。先程の第二関門橋の話です。

【司会】

はい。これは公共事業の話ですね。
時間もあまりございませんけど、よろしいですか。

【市民】

民生児童委員会の会長をしています。
こうして集まって話し合いをすると、集まった方は熱心にやられる訳ですね。しかし、リーダーとして出席しない方も、かなりおられます。私も自治会の悪口では無いですが、

自治会には自治会長が必ずおられます。その方を中心として、こういうまちづくりとかを進めるものだと思うのです。しかし、そのリーダーの方のやる気が無ければ、もう進みません。だから、自治会によって温度差というのがものすごくあるのです。こういうことをやる自治会とやらない自治会。

私も市役所に行って話をしましたけれど、民間の団体だから市からは何も言えないという事で、全然解決しない。

【司会】

自治会のことですからね。

【市民】

市でもやって貰いたい。私は、民生児童委員会の会長をしておりますので、27～28自治会の会長とは付き合いがありますので、大体分かります。

ここはよく活動されているなどか、ここは全くやってないなどかというのが、もう手に取るように分かります。

それで困ったから、これじゃいけないなと思って市に相談に行ったところが、民間の団体ですから市としては、何も言えません何もできません。これじゃいつまで経っても同じことです。何かやり方、方法があると思いますので、その辺を市として考えて頂きたいなという風に思います。

【司会】

市として自治会の教育をするということですね。

【市民】

簡単に言えばそうですね。

【市民】

今の話、痛切に感じるのです。今度、民生委員と自治会長を私が兼務することになりました。どういう事かという、自治会や民生委員とかの組織がバラバラになっている。簡単に言うと、それがおかしい。

【司会】

そうですね。同じボランティアですから、そういうのもあるんです。

【市民】

まあ老人対策が、現実が一番大きな仕事になります。自治会も一番大きな仕事は老人対策なのです。福祉委員がいる、民生委員がいる、なんかゴチャゴチャしている。

この間もここで社協による福祉委員の会議がありました。

そこで私は、福祉委員の協議会のようなものを作ったらどうか言うのは、おかしいじゃないか。市は、自分の中でのものを言うような組織を作ったら、何となく自分たちが仕事をやったような気になる。受けるのは、一本じゃないとおかしいじゃないですか。だから、私の自治会は、自治会として動くんだと。こういうことを言いましたら、上新地5丁目は一生懸命よくやって頂いておりますから、もういいですよという話になる。

【市民】

もうやっている人はいいんです。

【市民】

それはおかしいんです。

【市民】

自治会長が民生委員、福祉委員、健康推進委員、これをまとめたらいいんです。私のところはまとめましたよ。それから、自治会の会議には全部出させます。

【市民】

まず、そのためには、自治会長が民生委員をやってみて、こういう問題点がある、こういう色々な問題があるのだと知って、知らないでやろうとしても、それは無理な話。

【司会】

それは民生児童委員の方が言ったように、もう少し自治会長たるものの教育をしてもらって、自治会がまとまれば民生委員も福祉委員もまとまるのではないかと思います。もちろん民生委員も出てない地域もありますし、福祉委員も出てない地域もあります。だからそれはある意味、自治会長という町内の問題でありますので、市もできない状況ですが、少し教育された方が良いのではないかと思います。そういうことでまとめましょう。次に進めます。

【市】

それでは、一言、市の方から申し上げます。

【市】

すみませんありがとうございました。まずは、市の姿勢をというご意見でございました。なかなか難しい所もあるのですが、そういう中で、私どもが申し上げたかったのは、今まさに、最後に課題として挙げた組織が、大変失礼ですけどそれぞれのベースなので、1人の方が兼ねたら良いのではないかというような、そこが今度は多分、自治会長にご負担が掛かってくるのだらうと思います。大変失礼ですけども、今、多分、自治会長がそれなりのご年齢に達して、これから5年、10年というところで、果たして今担っていらっしゃる方が、次に繋げられるかというところが1つの課題であらうと思います。

ですから、大変こちらから指名して恐縮ですが、例えば学校のPTAで活動されている若い方たちも巻き込んでという言い方なのか、その方たちが今度の担い手というか、中心になってきて、そういう組織運営ができるような形も考えられないかというようなところを、またご議論頂ければというところでございます。まさに、最後に課題の抽出をして頂いたのかなというところでございます。

また、今回限りで、なかなか整理もつかないと思いますし、頂いた問題もございましたけども、引き続きやっていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

【市民】

もう1つ言いた事があります。

よろしいですか。簡単に言います。

こういう書類、素晴らしいプランを作られます。PDCAのサイクルでありますPDC。プランのP、いわゆる計画、これは素晴らしい。市が作ります。それを実行するのがDOで、それを実行するのは我々がします。そして、それをチェックする。これを市がやって

本庁西部地区まちづくり集会（H25.10.5 開催）

おられます。こういうふうになりましたと、色んなデータを作って、人口が何パーセントとか言ってお出されますね、それがチェックです。いいと思います。しかし、最後のAがないのです、アクション。処置がないのです。

これをどうしていくかというのがもう一歩ないのです。一歩突っ込んだ所が無い

私がいつも言うのですが、机の上にあるのは仕事じゃないよ。やって当たり前だよ。一歩前に突っ込んだことをするのが仕事ですよ、というのを市役所で私は何回も言っている訳です。これがないからアクションがない。だから前へ進まない。現状維持で、何となく、ぬるま湯にいつまでも浸かっている状態。それじゃいけないという風に思います。

だからアクションは、しっかりやってもらいたいと思います。そのためには情報開示です。今さっき言われた。それが必要だと思います。

【市】

ありがとうございます。

【市】

予定の時刻になりましたので、それでは最後に閉じさせていただきます。先程も申し上げましたとおり、この集会は来年度も形は変えるかもしれませんが、引き続き行なって参りたいと思いますので、その際には是非ともご協力頂きますようお願い申し上げます。それでは、以上を持ちまして本庁西部地区のまちづくり集会を終えたいと思います。本日は、どうもありがとうございました。